

鶴岡WBCプロジェクト

若手職員政策提案

αチーム テーマ

「こどもの遊び場整備事業」

～酷暑の夏に地吹雪の冬…こどもとどこで遊べばいいの？～

<チームメンバー>

- | | | | |
|---------|-------|--------------------------|--------|
| ○課税課 | 山村 久美 | ○福祉課 | 西脇 慎太郎 |
| ○課税課 | 田村 吉美 | ○新型コロナウイルススワクチン
接種対策室 | 三浦 巧 |
| ○廃棄物対策課 | 佐藤 剛 | ○商工課 | 阿部 史滉 |

若者・子育て世代に選ばれるまちになるために

PHASE1

・個人ワーク：当市の現状や将来起こり得る不具合、その原因と考えられることの洗い出し

PHASE2

・グループワーク：上記について意見交換（下記吹出し参照）

PHASE3

・テーマ決定：特にニーズが満たされていないとの意見が多かった「こどもの屋内の遊び場整備」に決定

給食がない夏休み等の長期休暇では、**子どもの昼食**の用意が大変。子どもの栄養不足が心配...

若者が就職や進学を機に地域外に転出すると地元に戻ってこない。**企業の職種の選択肢**が少なく、**給与水準**が低いことが要因か？

おむつなど育児用品の**経済的負担**等、子育てに対し「お金がかかる」というマイナスイメージが働き、さらなる少子化へとつながるのでは？

大規模で無料の屋内遊戯施設がほしい！**子供の心身の成長**には必要不可欠なのではないか。



子育て世代が**頼れる人・モノ・サービス**が不足している。単身世帯の増や祖父母世代の雇用延長により、子育て世代に差し伸べられる手が足りていないのでは？

現状整理：屋内遊戯施設（市内＋三川町）

施設名	利用料	利用対象	営業時間
キッズドームソライ	0歳：無料 1歳：500円 2歳：700円 3歳以上：1,500円 保護者：500円	主に小学生以下	月・金：10～18時 火・木：15～18時 土日祝：10～12時/ 13～15時/ 15時30分～18時
児童館 （6カ所）	無料	18歳未満 主に小学生以下（学童）	9～17時（祝日、年末年始を除く毎日）
子育て支援センター （ <u>にこふる、まんま</u> <u>ルームのほか13か所の</u> 保育園内に設置）	無料	年齢制限なし <u>主に0～3歳</u>	施設ごと
こがたランド	こども：100円 大人：200円	年齢制限なし	不定期開催（令和5年12月 は2回） 時間：10～16時
テオトル（三川町）	無料	年齢制限なし、主に小学生以下	9～12時/13～17時 第3水曜休館

政策提案

根拠①

- 子育てに係る市民アンケート
遊び場の不足に係る意見を出した子育て世帯は**約35%**(1,750世帯中617世帯)

根拠②

- 幼児施設の保護者団体等からの陳情
屋内遊戯施設の整備及び**ソライの無料化**が優先事項として挙げられている。

根拠③

- 利用者等（※）への取材 ※施設利用者である子育て中の保護者等23人
利用料の負担、異年齢児利用の不安など、現存施設のみでは**市民ニーズを満ち切っていない**という意見。

+近隣自治体へのアンケート(県内13市町+新潟県燕市)、遊びと学びの交流施設「くるんと」(長井市)視察

根拠に
基づく
仮説

市内の屋内のこどもの遊び場は、利用するときの気軽さ、安心感などの点において、**市民ニーズをカバーし切れていない**のではないか。

仮説に
基づく
提案

- **利用料無料、幅広い年代のこどもの利用**など、市民ニーズを把握し精査を進め、ニーズに合致すると判明した場合は**新たな屋内遊戯施設整備**を検討してはどうか。
- 建設費用及び維持管理コストの最適化のため、**整備予定の公共施設との複合化**を検討する。

複合施設具体案

本市の
状況等

提案

期待
される
成果

案1 市立図書館

昭和60年築。老朽化が進み、新図書館の整備に向け議論が進められている。

新図書館の整備に合わせ、屋内遊戯施設の機能も持たせてはどうか。

幼少期から読書に親しみつつ、遊び場でたくさん運動し、心身両方の発達に寄与。図書館は多世代が利用する場であり、中心市街地の賑わい創出にも貢献できる。

案2 中央児童館

旧二小跡地において、第二コミセンを同跡地に移転し、中央児童館が持つ機能と連携させる。

令和12年度頃に大規模改修を検討。大型の屋内遊戯施設としてはどうか。併せて、旧二小跡地に図書館も整備してはどうか。

「こどもから高齢者までが交流できる場」「地域でこどもを育てる子育ての場」とし、地域を大切にすることを育む。

案3 市民プール

平成元年築。老朽化が進んでいる。

プールに併設して屋内遊戯施設を設置し、プール利用後の遊戯施設利用など、屋内で存分に運動できる場を提供できないか。

幼児でも気軽にプールを利用するきっかけとなり、運動不足を予防。学校プールの共同利用拠点とすれば、各校のプール整備・管理費など財政的課題を減らせる。

期待される効果と今後の展望

短期的 成果

- ・ 市内外の子育て世代が利用し、遊び場に困る人が減る
- ・ 気軽に子育ての悩みを相談できる
- ・ 一時預かりを利用できる

- ・ 子育て世代の経済的、精神的負担が減る
- ・ こどもの郷土愛が醸成される
- ・ 全てのこどもの健やかな成長が後押しされる



長期的 に期待 される 成果

「鶴岡で子育てがしたい。」

出生数増加

鶴岡にずっと住みたいと思える若者の増加

Uターンの増加

鶴岡市への移住者増加

交流人口の創出及び拡大

市内への経済波及効果